

第3回がん登録推進部会 議事概要

日時：平成21年(2009年)11月5日(木)16:00~17:15

場所：滋賀県立成人病センター研究所会議室

出席者：川上 賢三(成人病センター)

太田 悦子(滋賀医科大学医学部附属病院)

早雲 孝信、森 明子(大津赤十字病院)

浅田 佳邦、寺村 清一郎(公立甲賀病院)

寺村 康史、湯浅 美智留(彦根市立病院)

東出 俊一、堀江 智美(市立長浜病院)

田中 一史(成人病センター)

欠席者：目片 英治(滋賀医科大学医学部附属病院)

加賀爪 雅江(健康推進課健康づくり支援室)

<敬称略>

【議事概要】

1. 2007年診断分データ収集について

収集結果

<事務局より>

前回の部会決定を受けて、10月16日の研修会後にごん登録実務者が集まって、データ収集について具体的な打ち合わせを行った。

滋賀県独自の取り組みとして、「2007年症例腫瘍データ収集調査」の標準項目のうちから収集項目を決め、部位についても全がんではなく、5大がん+膵がんを収集対象とした。それらを集計したものが、添付資料の「5大がん+膵 部位別ステージ別件数」で、右欄が調査対象の全症例、左欄は初回治療として外科的手術治療を行った症例の集計である。

データ精度に問題があると予測されることから、正しい集計結果に至っていないが、この表についてご意見をいただき、再度データ収集しなおしたい。

また、がん登録のルールにより、登録の対象となるのは診断から概ね4ヶ月以内の治療であり、それ以降の経過や治療、再発治療に関するデータは含んでいない。(各登録項目には、国立がんセンターが定めた定義があり、がん治療全体を網羅したものではないことを認識しておく必要がある。)

医療機関1では、大腸がん 期38例中の外科的手術が0件というのは(すべて内視鏡的治療のみだったとは)考えにくい。

医療機関2では、胃がん 期147例中外科的手術が61件というのは少ないし、内視鏡治療が80件あるとは考えられない。また、膵がん 期で「外科的手術あり」が0件というのも不自然である。

「外科手術あり」には姑息的手術も含むのであれば、全体の大腸がん 期の「外科手術あり」が少なすぎる。

診療科ごとに手術症例の集計などをしたことはあるが、各施設でこのように全体の集計はしたことがないと思う。情報公開を前提に、他施設と比較できるデータにしておくには、共通ルールによるこのような集計を行って精度をあげていくしかない。

診断後に初回治療を行ったものとそうでないものが、がん登録のルールでは同じよう

に集計されると聞くと違和感があり、やはり区別して集計できるようにしておくべきと考える。

滋賀県独自の項目（またはルール）を設定するなどして、（前回の部会でも話題になったように）患者さんに発信できることがあるのではないかと考える。

医師にとっては、わかりにくいがん登録のルールよりも、取扱規約で記入できるフォーマットがあれば良いと思うので、専用のシート（フォーマット）を用意し、がんを診断した医師に必要な事項を書いてもらい、その後診療情報管理士が必要に応じて追記するようにしてはどうかと考えている。うまくいけば、全県で使えるようにしたいと考えている。外来症例の登録にも役立つと考えられる。

データ精度について

<事務局より>

前項でも示したとおり、集計結果からデータ精度に問題があると推測される。特に、抽出したデータを提出データの型にする時点で、うまく変換できていない可能性もあり、使用しているシステムによる問題も含めて検証する必要がある。各実務者においては、抽出データの点検を充分に行っていただく必要があるが、その方法などについて、今後実務者間で検討・学習していきたい。

データ提出のフォーマットを提供して、提出データを揃えるようにしてはどうか。データ提出の前に各施設で集計してもらうことで、一次チェックになり、提出前に修正ができることになる。

がん登録実務上の問題点について

<事務局より>

先に国立がんセンターより公開された「2007年診断分腫瘍データ調査」の都道府県別集計結果でも、各都道府県によってデータ格差があることは指摘されている。院内がん登録の体制整備（実務量に応じた人員配置が不十分であるなど）によると推測されるものや、（ルールの理解も含めた）実務の精度によると推測されるものがあり、TNM分類とステージの整合などにもエラーが散見された。

やはり、国立がんセンターが行う初級・中級の研修の受講だけでは十分な精度を維持できないことは明らかである。従って、この部会が中心となり、研修会や相談会の開催に加え、日常的な実務支援を行っていく必要がある。

国立がんセンターへのデータ提出は2008年度診断分が来年の2月末までとされていることや、提出データの3年後・5年後の予後情報の提出が予定されていることなどから、今回の結果を基に具体的な問題点を把握して精度向上に努める。

今回の個々のエラー内容は、後日事務局から実務者に連絡する。

再度各施設でデータ確認をお願いし、12月15日までに再提出いただく。

再提出用フォーマットは後日事務局から提供する。

2. 実務研修会・相談会の参加状況について

滋賀県がん診療連携協議会

<事務局より>

10月16日 第3回がん登録実務研修会

泌尿器科がんの診断と治療（成人病センター 大西部長） 参加者 27名

3. 今後の事業日程について

月	日	時間	事業	内容	開催場所
12月	15日	14:00～	実務相談会	病期分類(UICC TNM分類と取扱規約)	彦根市立病院
1月	15日	14:00～	実務研修会	がんの診断と治療<婦人科>講師:滋賀医大 中川先生	滋賀医大
2月	4日	16:00～	第4回部会	データ分析・評価、年間の活動総括	成人病センター
3月	11日	14:00～	実務相談会	病期分類(UICC TNM分類と取扱規約)	大津赤十字病院

<事務局より>

今年度の実務研修会・相談会につき、近日中に県内医療機関に案内の予定。

以上